

砂川市義務教育学校の開校まで、残すところ1年となります。今年度から、「砂川市小中一貫教育推進委員会」に5つのワーキンググループを設置し、本市における小中一貫教育の取組の推進と砂川学園開校に向けた様々な検討を重ねてきましたが、まだ詳細を検討しきれていない内容について協議を行い、スムーズな開校への道筋を明田とすることをねらい、次年度からのワーキンググループを再編しようと考えます。

義務教育学校開校に向けて

砂川市小中一貫教育推進委員会 におけるワーキンググループの 再編について

教育委員会 指導参事

Ⅰ 砂川市小中一貫教育推進委員会

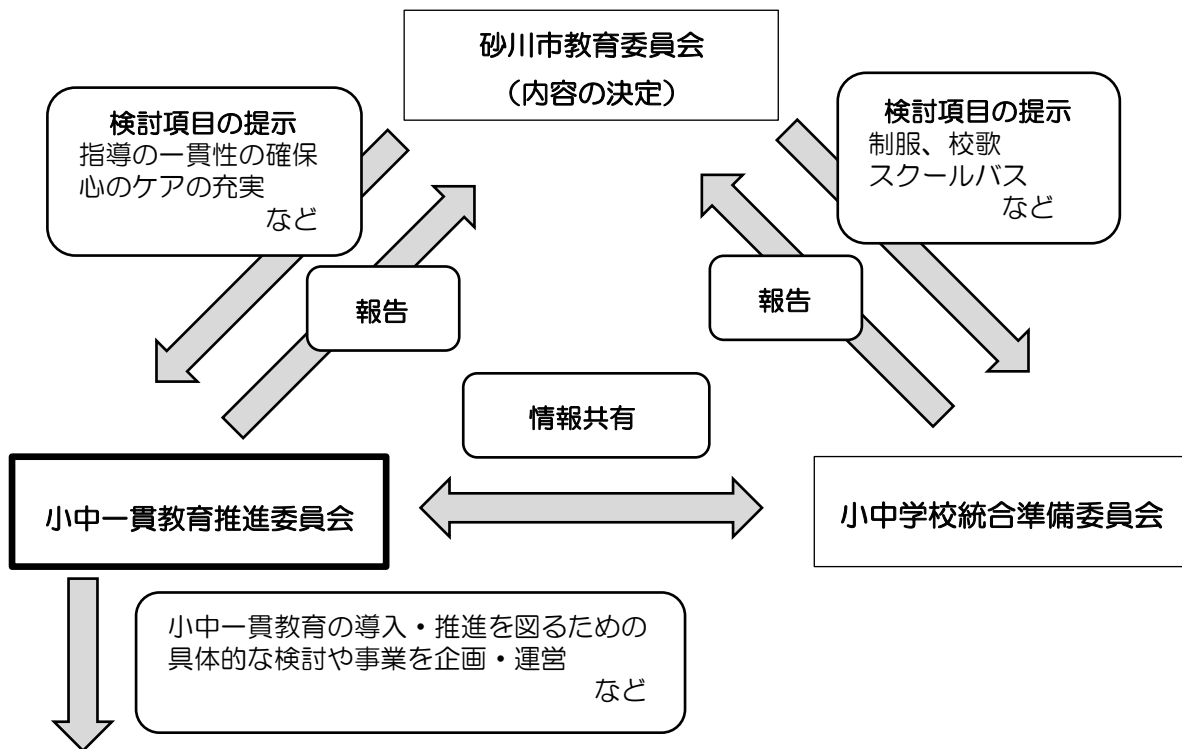
1 砂川市小中一貫教育推進委員会

砂川市小中一貫教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）は、小中一貫教育の導入・推進を図るため令和2年度に策定した「砂川市立小中学校適正配置基本計画」（以下「基本計画」という。）に基づき、小中一貫教育に関する調査及び協議を行う機関として令和3年度から設置されている。小中一貫教育の具体的な事項の調査及び協議については、令和4年度に策定した「砂川市義務教育学校基本構想」及び令和5年4月に策定し、毎年度見直しを行っている「砂川市小中一貫教育推進計画」に沿って進め、推進委員会で協議した内容及び決定した事項については、取りまとめ教育委員会へ報告することとしている。

また、より具体的な検討や事業を企画運営するために、令和4年度から設置した4つの特別部会を、令和6年度に5つのワーキンググループとして再編した。

なお、基本計画で示している「学校統合」については、別途「砂川市立小中学校統合準備委員会」を設置して協議することとしている。

推進委員会の位置づけ (R6)



小中一貫教育推進委員会ワーキンググループ

- 学校経営ワーキンググループ
- 教育課程ワーキンググループ
 - ・研究推進ワーキンググループ
 - ・指導活動ワーキンググループ
- 学校連携ワーキンググループ

2 ワーキンググループの設置について

ア 学校経営ワーキンググループ

- ・義務教育学校の土台となる学校経営方針及び校務分掌、特別委員会などの組織や人的配置、学校行事の在り方の方向性などについて協議を行います。

イ 教育課程ワーキンググループ

- ・9年間を貫く視点から、各教科・領域の年間指導計画や道徳科の別様、全体計画、年間行事予定表などを作成するとともに、日課や特別教室割当等について協議します。
- ・令和7年度からの小中一貫教育本格実施に向けて、どのような視点から着手するかを検討します。

ウ 研究推進ワーキンググループ

- ・令和8年度からの校内研究について、研究主題や主題設定の理由、研究内容や研究推進計画等の枠組みを協議するとともに、各教科の指導系統表を作成します。

エ 指導活動ワーキンググループ

- ・9年間の児童生徒の発達段階を考慮した校則等の「きまり」の作成や児童会生徒会の組織や活動内容・活動計画、学校行事や異学年交流の詳細等について協議します。

オ 学校連携ワーキンググループ

- ・これまで「小学校連携事業部会」と「小中連携事業部会」が取り組んできた事業を引き継ぎ、内容の充実・深化に努めながら、中1ギャップ解消を目指す取組を推進します。

(4) ワーキンググループの構成員

ア 学校経営ワーキンググループ：市内小・中学校の校長で構成する。

イ 教育課程ワーキンググループ：市内小・中学校の校長②、教頭②及び教員で構成する。

ウ 研究推進ワーキンググループ：市内小・中学校の校長①、教頭①及び教員で構成する。

エ 指導活動ワーキンググループ：市内小・中学校の校長①、教頭①及び教員で構成する。

オ 学校連携ワーキンググループ：市内小・中学校の校長①、教頭②及び教員で構成する。

各ワーキンググループには、アドバイザーとして校長、グループ長として教頭を配置する。

なお、教育課程ワーキンググループのアドバイザーは2名、その他は1名とし、いずれにも属さない校長が学校経営ワーキンググループの取りまとめ役を担う。

(5) ワーキンググループの推薦人数

ア 学校経営ワーキンググループ：各小・中学校から1名。

イ 教育課程ワーキンググループ：各小・中学校から1名。(教務主任が望ましい)

ウ 研究推進ワーキンググループ：各小・中学校から1名。(研究部長が望ましい)

エ 指導活動ワーキンググループ：各小・中学校から2名。

(生徒指導主事・児童会生徒会担当者が望ましい)

オ 学校連携ワーキンググループ：各小・中学校から2名。

(6) ワーキンググループの運営

- ア 事務局は砂川市教育委員会学校再編課（統括：指導参事）とし、各ワーキンググループのグループ長と連携しながら運営に当たる。
- イ 派遣依頼や案内文書は学校再編課より発出する。
- ウ ワーキンググループの協議の方向性については、グループ長と指導参事による事前協議で調整するが、具体的内容に関してはグループ長に一定の権限と裁量を与える。
- エ グループ間での情報共有が必要な事項があれば、グループ長間で積極的に連携を図る。
- オ ワーキンググループは、各グループにおけるミッションを達成するために適切な数の会議をもつこととし、オンラインによる会議の開催も推奨する。

3 今年度のワーキンググループにおける取組の成果と課題について

(1) 教育課程ワーキンググループ

○ねらい

- ・教務的視点から、義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール【最低限のマスト】

- ・義務教育学校開校時の教務系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】
(×7割に届かず)
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程を完成させる。(○完了)
- ・「各教科・領域」の教育課程を完成させる。(×未着)
- ・「時間割表」(案)を完成させる。(×未着)
- ・「日課」を確定させる。(○完了)
- ・「通知表」を完成させる。(△内容については完了・データの作成が残っている)
- ・「全体計画」を完成させる。(○完了)
- ・「砂川学園 学習スタンダード」を作成・浸透させる。【中学校への汎用】(○完了)

※研究推進WGで取組終了

○取組内容

- ・会議：9回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月14日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	5月30日（木）	学校行事の検討
第3回	6月11日（火）	学校行事の検討
第4回	7月9日（火）	学校行事の検討
第5回	8月29日（木）	「総合的な学習の時間」カリキュラム検討 旅行的行事の検討
第6回	11月29日（金）	年間行事予定表の検討・日課表の検討
第7回	12月20日（金）	年間行事予定表の検討・「通知表」の検討
第8回	令和7年 1月30日（木）	年間行事予定表の検討・「日課表」の検討 「タブレット端末持ち帰りガイド（案）」の検討 「よくわかる砂川学園」の内容の検討
第9回	2月28日（金）	指導活動WG所管学校行事の検討（教務的視点から）

○取組の成果

- ・教務部に関わる学校行事について、日程や内容を確定させた。
- ・令和8年度の修学旅行について、業者選定を行い、日程（行程）を決定した。

- ・「総合的な学習の時間」の教育課程を確定した。
- ・「通知表」の項目や記入時期を確定した。
- ・「タブレット端末持ち帰りガイド」を確定した。
- ・「よくわかる砂川学園」の内容を確定した。

○取組の課題

- ・ 9年間を見通して教育課程全般の詳細について検討・作成をする必要がある。
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程について、9年生の修学旅行地が東北方面となったことから、内容を修正する必要がある。
- ・ 特別教室割、年間行事予定（時数計算）、通知表様式（デジタルデータ）等について、詳細を決定、作成する必要がある。
- ・その他、C4thの利活用、タブレット端末活用のきまりについて協議をする必要がある。

○次年度に向けた取組

教育課程WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

【作成するもの】	【決めるべきこと】
<input type="checkbox"/> 教育課程（教育計画・配当時数等） <input type="checkbox"/> 各教科 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 児童・生徒会活動 <input type="checkbox"/> 特別支援 <input type="checkbox"/> 学校行事 <input type="checkbox"/> 児童・生徒会活動 <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 全体計画 <input type="checkbox"/> 時間割 <input checked="" type="checkbox"/> 日課表 <input type="checkbox"/> 特別教室割 <input type="checkbox"/> 通知表 <input checked="" type="checkbox"/> キャリアパスポート <input type="checkbox"/> 年間計画（途中） <input type="checkbox"/> 学校要覧 <input checked="" type="checkbox"/> 「よくわかる●●」リーフ <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援教育CNリーフ <input checked="" type="checkbox"/> タブレットスキル系統表 <input checked="" type="checkbox"/> スタートカリキュラム <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画	<input type="checkbox"/> 教材・副教材 <input checked="" type="checkbox"/> プール学習の持ち方 <input checked="" type="checkbox"/> スキー学習の持ち方 <input type="checkbox"/> 武道の持ち方 <input checked="" type="checkbox"/> 通知表の内容 <input type="checkbox"/> 指導要録のデータ整理 <input type="checkbox"/> 校務支援システムの利活用 <input checked="" type="checkbox"/> 学習に関わる持ち物の統一 <input checked="" type="checkbox"/> 使用するノートの統一 <input checked="" type="checkbox"/> 教室環境の統一（備品整備） <input type="checkbox"/> テスト発注 <input checked="" type="checkbox"/> 旅行的行事の仮予約 <input type="checkbox"/> タブレット端末活用のきまり <input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末 <div style="text-align: center;">持ち帰りのきまり</div> <input type="checkbox"/> スクールバスについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 入学式 <input checked="" type="checkbox"/> 始業式 <input checked="" type="checkbox"/> 参観日・懇談会 <input checked="" type="checkbox"/> 学校経営説明会 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭訪問（個人懇談） <input checked="" type="checkbox"/> 宿泊学習 <input checked="" type="checkbox"/> 修学旅行 <input checked="" type="checkbox"/> 終業式 <input checked="" type="checkbox"/> 学芸会 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業証書授与式 <input checked="" type="checkbox"/> 修了式・離任式

(2) 研究推進ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時からの校内研究がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール

- ・義務教育学校開校時の研修系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】（○完了）
- ・各教科の「学習系統表」を完成させる。（○完了）
- ・校内研究に関わる諸事項について協議、決定させる。（○完了）

○取組内容

- ・会議：7回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月21日(火)	構成員と今年度の取組内容の確認 学習系統表作成について(趣旨、内容、分担)
第2回	7月23日(火)	校内研究推進に関わる諸事項の協議① (方向性、研究主題、主題設定の理由)
第3回	8月29日(木)	校内研究推進に関わる諸事項の協議② (研究仮説、検証方法、研究方法、研究内容、推進計画、研究構造図)
第4回	9月24日(火)	教室環境の統一についての協議 砂川市学習スタンダードの内容検討(中学校への汎用) 研究推進ロードマップの検討
第5回	12月17日(火)	砂川学園「スタートカリキュラム」の検討 砂川学園「タブレットスキル系統表」の検討
第6回	1月30日(木)	学習系統表の確認
第7回	令和7年 2月25日(火)	砂川学園「学習指導案」形式の検討 1年間の取組の反省(次年度に向けた論点整理)

○取組の成果

- ・砂川学園における校内研究について、研究の仮説、内容、方法等についておおむね確定させた。
- ・令和8年度の校内研究が4月からスムーズに推進されるよう、年間を通した校内研究推進のロードマップを作成・決定した。
- ・現在の「学習スタンダード」を見直し、中学校にも汎用できる形に改訂した。
- ・教室に掲示するものや場所について確定させた。
- ・「砂川学園スタートカリキュラム」を作成・確定した。
- ・「砂川学園タブレットスキル系統表」を作成・確定した。
- ・「砂川学園学習系統表」を作成・確定した。
- ・「学習指導案」の様式を確定した。

○取組の課題

- ・教育課程WGで作成している年間行事予定表と連動させながら、年間の研修計画について検討する必要がある。
- ・令和8年度の校内研究が4月からスムーズに推進されるよう、年間を通した校内研究推進のロードマップについて、特に令和8年1月～3月までの取組を、現在の市内6校で着実に進めていく必要がある。
- ・教室に掲示する「発表の仕方」と「振り返りのパターン」を作成する必要がある。

○次年度に向けた取組

研究推進WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

【作成するもの】
<input type="checkbox"/> 教室環境の統一(掲示物)
<input type="checkbox"/> 発表の仕方
<input checked="" type="checkbox"/> 学習の姿勢
<input type="checkbox"/> 振り返りのパターン
<input checked="" type="checkbox"/> 家庭学習のきまり
<input checked="" type="checkbox"/> 学習系統表
<input checked="" type="checkbox"/> 経営計画

【決めるべきこと】	
<input checked="" type="checkbox"/> 校内研究推進に関わる諸事項	
<input checked="" type="checkbox"/> 研究推進の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 研究主題
<input checked="" type="checkbox"/> 主題設定の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 研究仮説
<input checked="" type="checkbox"/> 検証方法	<input checked="" type="checkbox"/> 研究方法
<input checked="" type="checkbox"/> 研究内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研究推進計画
<input checked="" type="checkbox"/> 研究構造図	

○活動の展望

- ・研究推進WGについては、令和6年度におおむねそのミッションを達成したことから、令和7年度は組織しないこととする。
- ・上記青字のものについては、砂川小学校と砂川中学校の主幹教諭に作成を依頼し、作成後、砂川市小中一貫教育推進委員会に事務局提案する。

(3) 指導活動ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時から、安定した児童生徒指導や、子供たちの主体的活動がスムーズに推進できるよう、生徒指導の基盤と学級活動、児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成する。

○ゴール

- ・義務教育学校開校時の指導系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】 (○完了)
- ・「校則」を完成させる。(○完了)
- ・「自転車通学のきまり」を完成させる。(△内容検討は完了・作成が残っている)
- ・「児童生徒会組織」「児童生徒会活動」について検討、協議し、決定する。(○完了)
- ・「部活動体制」について検討、協議し、決定する。(×未着)
- ・「清掃割当表」について検討、協議し、決定する。(△データは完了・検討が残っている)
- ・「指導系行事・児童生徒会行事」について検討、協議し、決定する。(○完了)

○取組内容

- ・会議：9回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月28日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	6月3日（月）	生徒指導に関わることの協議（校則）
第3回	7月1日（月）	生徒指導に関わることの協議（校則）
第4回	9月26日（木）	児童生徒会に関わることの協議
第5回	10月29日（火）	作成物の確認（生徒指導G・児童生徒会G） 学校行事に関わることの協議①
第6回	11月19日（火）	学校行事に関わることの協議②
第7回	12月19日（木）	学校行事に関わることの協議③
第8回	令和7年 1月30日（木）	学校行事に関わることの協議④
第9回	2月25日（火）	学校行事に関わることの協議⑤

○取組の成果

- ・砂川学園の「校則」について確定させた。
- ・自転車通学の対象学年やヘルメット着用義務化などについて確定させた。
- ・砂川学園の「児童生徒会活動」について確定させた。
- ・指導部や保体部に関わる学校行事や児童生徒会行事について、日程や内容を確定させた。

○取組の課題

- ・部活動の詳細について検討・作成をする必要がある。
- ・校則について教職員のコンセンサスをとる場を設けるとともに、保護者に説明する必要がある。
- ・清掃について、詳細を決定、作成する必要がある。
- ・その他、図面（データ）を作成し、防災計画（火災）を確定させ、消防に各種届を提出する必要がある。

○次年度に向けた取組

指導活動WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

【作成するもの】	【決めるべきこと】
<input type="checkbox"/> 生徒指導に関わること	<input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導に関わること
<input checked="" type="checkbox"/> 校則（学校生活のきまり）	<input checked="" type="checkbox"/> 校則（学校生活のきまり）
<input type="checkbox"/> 自転車通学のきまり	<input checked="" type="checkbox"/> 自転車通学のもち方
<input checked="" type="checkbox"/> 危機管理マニュアル	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒会活動に関わること
<input checked="" type="checkbox"/> 各種災害BCP	<input checked="" type="checkbox"/> 児童会役員の構成
<input checked="" type="checkbox"/> 学校いじめ防止基本方針	<input checked="" type="checkbox"/> 行事への参画のさせ方
<input type="checkbox"/> 防災計画	<input checked="" type="checkbox"/> 委員会の内容と数
<input checked="" type="checkbox"/> アナフィラキシー対応マニュアル	<input checked="" type="checkbox"/> 役員改選の時期
<input type="checkbox"/> SC・SSWだより	<input type="checkbox"/> 部活動に関わること
<input type="checkbox"/> スクールバス利用者リスト	<input type="checkbox"/> 基本的な考え方
<input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導共有ファイル	<input type="checkbox"/> 運営
いじめ・問題行動・不登校 等	<input type="checkbox"/> 地域移行
<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒会活動に関わること	<input type="checkbox"/> 各種手続き及び留意事項
<input checked="" type="checkbox"/> 投票用紙	<input type="checkbox"/> その他
<input checked="" type="checkbox"/> 委員会割当表	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事に関わること
<input type="checkbox"/> 部活動に関わること	<input checked="" type="checkbox"/> 新入生を祝う会
<input type="checkbox"/> 部活動運営ガイドライン	<input checked="" type="checkbox"/> 運動会
<input checked="" type="checkbox"/> 経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 陸上大会
	<input checked="" type="checkbox"/> 中体連壮行会
	<input checked="" type="checkbox"/> 遠足
	<input checked="" type="checkbox"/> 学園祭
	<input checked="" type="checkbox"/> フェスティバル
	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業生を送る会
	<input checked="" type="checkbox"/> 学芸会
	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全教室
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者対応訓練
	<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災教室

○活動の展望

- ・R8は「部活動」に関わる事項の検討がメインになる。
- ・作業量が膨大であることから、WG長の教頭に各種作成を依頼するケースが増える。

(4) 学校連携ワーキンググループ

○ねらい

- ・中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流をもつことで、児童の不安を解消する。
- ・令和8年4月の義務教育学校新設に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。
- ・小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ・中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れるとともに入学する児童の様子について中学校側が把握する。

○ゴール

- ・計画された事業を行い、市内5校の4・5・6年生の95%以上が「楽しかった!」、85%以上が「交流できた!」という気持ちを抱かせる。

【合同遠足】

⇒未達成：楽しかった（6年生・94%、5年生・99%）

⇒達成：交流できた（6年生・92%、5年生・93%）

【5校交流会】

⇒達成：楽しかった（6年生・98%、5年生・%、4年生・%）

⇒達成：交流できた（6年生・94%、5年生・%、4年生・%）

- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。（○完了）
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。（○完了）
- ・計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が「中学校の先生の授業をまた受けてみたい」「中学校の先生の授業はわかりやすかった」という気持ちを抱かせる。
- ・小学校版に寄せた中学校の「共通チャレンジシート」を作成する。（×未着）

○取組内容

- ・会議：8回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月21日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認 家庭学習チャレンジ週間の取組について
	6月6日（木）～12日	家庭学習チャレンジ週間①
第2回	6月21日（金）	第1回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 合同遠足の実施に向けて【概要案】
第3回	7月23日（火）	合同遠足の実施に向けて【細案】
第4回	9月3日（火） ★オンライン	合同遠足の最終確認 第1回5校交流会に向けて①【概要案】
	9月13日（金）	合同遠足
	9月19日（木）～25日	家庭学習チャレンジ週間②
	11月6日（水）	6年生乗り入れ授業
第5回	11月8日（金）	合同遠足反省・第1回5校交流会に向けて②【細案】
	11月14日（木）～20日	家庭学習チャレンジ週間③
	11月29日（金）	第1回5校交流会①（6年生）
第6回	12月17日（火）	第1回5校交流会反省・学年交流会について 第2回5校交流会に向けて①【概要案】
第7回	令和7年1月31日（金）	第2回5校交流会に向けて②【細案】
	2月13日（木）～19日	家庭学習チャレンジ週間④
	2月21日（金）	第2回5校交流会②（4・5年生）
	2月28日（金）	3年学年交流会
	3月7日（金）	2年学年交流会
第8回	3月17日（月）	第4回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 第2回5校交流会及び学年交流会反省 取組の反省と次年度へ向けての展望

○取組の成果

- ・予定していた取組を全て終えることができた。
- ・合同遠足や交流会については、担当校の工夫により、昨年度よりも内容を充実させるとともにスムーズな運営を行うことができた。
- ・交流会については、対象学年を2年生まで拡大させることができた。
- ・取組に関わる目標数値を達成することができた。

○取組の課題

- ・ 中学校の家庭学習取組シートを小学校のチャレンジシートに様式を寄せる必要がある。
- ・ 「チャレンジ週間」の取組についてマンネリとならないような工夫を考える必要がある。

○次年度に向けた取組

学校連携WGでは、次年度についても赤字の取組を継続実施する。

【作成するもの】

<input checked="" type="checkbox"/> 家庭学習チャレンジ週間	<input checked="" type="checkbox"/> 乗り入れ授業	<input checked="" type="checkbox"/> 5校交流会アンケート	※分析・考察
<input type="checkbox"/> 鏡文書（年4回）	<input type="checkbox"/> 計画	<input checked="" type="checkbox"/> 合同遠足アンケート	※分析・考察
<input type="checkbox"/> チャレンジシート（年4回）	<input type="checkbox"/> アンケート集計	<input checked="" type="checkbox"/> 学年交流会アンケート	※分析・考察
<input type="checkbox"/> アンケート集計（年2回）	※分析・考察		
※分析・考察			

○活動の展望

- ・ 中学校の家庭学習取組シートを小学校のチャレンジシートに様式を寄せる。
- ・ 「チャレンジ週間」の取組方法は今年度である程度決着がついたので、次年度以降は今年度の取り組み方をベースとしたルーティンにする。
- ・ 「乗り入れ授業」は6年生のみ、今年度と同様のスタイルとする。
- ・ 外国語科（外国語活動）について、3年生以上で全ての小学校で専科制を実施する。
- ・ 低学年（1・2年）対象の外国語活動も実施する（月1回：年10回）。
- ・ 「砂川市版キャリア・パスポート」を活用する。

4 ワーキンググループ部会の再編について

(1) 再編のねらい

ア 今年度議論を重ねてきた各ワーキンググループの取組の成果と課題を踏まえ、砂川学園開校に向けて、着手しきれていない作業を着実に推進するとともに、十分な準備を行うことができていない内容についての検討を進める。

イ これまで推進してきた小中一貫教育の取組を深化・充実させながら、次年度から本格実施する小中一貫教育が実効性のある内容となり、取組を円滑に砂川学園の教育活動に結びつける。

(2) 再編の方向性

「学校経営ワーキンググループ」「教育課程ワーキンググループ」「指導活動ワーキンググループ」「学校連携ワーキンググループ」については継続して設置することとし、「研究推進ワーキンググループ」については、ねらいとする取組を終えたことから解消する。

また、新たに「学校事務ワーキンググループ」と「特別支援教育ワーキンググループ」を立ち上げ、それぞれの詳細を検討することができるようにする。ただし、両ワーキンググループは協議内容を確定させたのちは解散する時限的な組織とする。

(3) 名称と役割

ア 学校経営ワーキンググループ

- ・ 義務教育学校の土台となる学校経営方針及び校務分掌、特別委員会などの組織や人的配置、学校行事の在り方の方向性などについて協議を行う。

イ 教育課程ワーキンググループ

○ねらい

- ・教務的視点から、義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール

- ・9年間を見通して教育課程を検討・作成する。
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程について、9年生部分の内容を修正する。
- ・特別教室割を作成する。
- ・年間行事予定を完成させ、時数集計を終える。
- ・通知表様式（デジタルデータ）の詳細を決定・作成する。
- ・タブレット端末活用のきまりを決定・作成する。

ウ 指導活動ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時から、安定した児童生徒指導や、子供たちの主体的活動がスムーズに推進できるよう、生徒指導の基盤と学級活動、児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成する。

○ゴール

- ・部活動の詳細について検討・作成をする。
- ・校則について教職員のコンセンサスをとる場を設けるとともに、保護者に説明する。
- ・清掃について、詳細を決定させる。
- ・防災計画（火災）を確定させ、消防に各種届を提出する。

エ 学校連携ワーキンググループ

○ねらい

- ・中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流をもつことで、児童の不安を解消する。
- ・義務教育学校開校に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。
- ・小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ・中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れるとともに入学する児童の様子について中学校側が把握する。

○ゴール

- ・計画された事業を行い、市内5校の2～6年生の95%以上が「楽しかった!」、90%以上が「交流できた!」という気持ちを抱かせる。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。
- ・計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が「中学校の先生の授業をまた受けてみたい」「中学校の先生の授業はわかりやすかった」という気持ちを抱かせる。
- ・小学校版に寄せた中学校の「共通チャレンジシート」を作成する。
- ・「砂川市版キャリア・パスポート」を活用する。

オ 学校事務ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校に向けて、学校事務に関わる事柄について、市内で統一させるべきことについての検討・協議、決定をする。

○ゴール

義務教育学校開校時の学校事務業務について、次のことについて決める。

- ・私費会計の取扱いについて
- ・口座の統一について
- ・引き落とし日の設定について
- ・事務職員の業務分担について

カ 特別支援教育ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校に向けて、特別支援教育に関わる事柄についての検討・協議、決定をする。

○ゴール

義務教育学校開校時に向けて、次のことについて情報共有し、自校の教育活動に反映させる。

- ・担当児童生徒の特性及び支援方法について
※児童の組合せについて協議できる状況になることが望ましい。
- ・自立活動の取組について
- ・砂川学園におけるインクルーシブ教育システムの構築について

(4) ワーキンググループの構成員

- ア 学校経営ワーキンググループ：市内小・中学校の校長で構成する。
- イ 教育課程ワーキンググループ：市内小・中学校の校長②、教頭②及び教員で構成する。
- ウ 指導活動ワーキンググループ：市内小・中学校の校長①、教頭①及び教員で構成する。
- エ 学校連携ワーキンググループ：市内小・中学校の校長①、教頭②及び教員で構成する。
- オ 学校事務ワーキンググループ：市内小・中学校の事務職員で構成する。
- カ 特別支援教育ワーキンググループ：市内小・中学校の校長①、教頭①及び教員で構成する。

各ワーキンググループには、アドバイザーとして校長、グループ長として教頭を配置する。

なお、教育課程ワーキンググループのアドバイザーは2名、その他は1名とし、いずれにも属さない校長が学校経営ワーキンググループの取りまとめ役を担う。

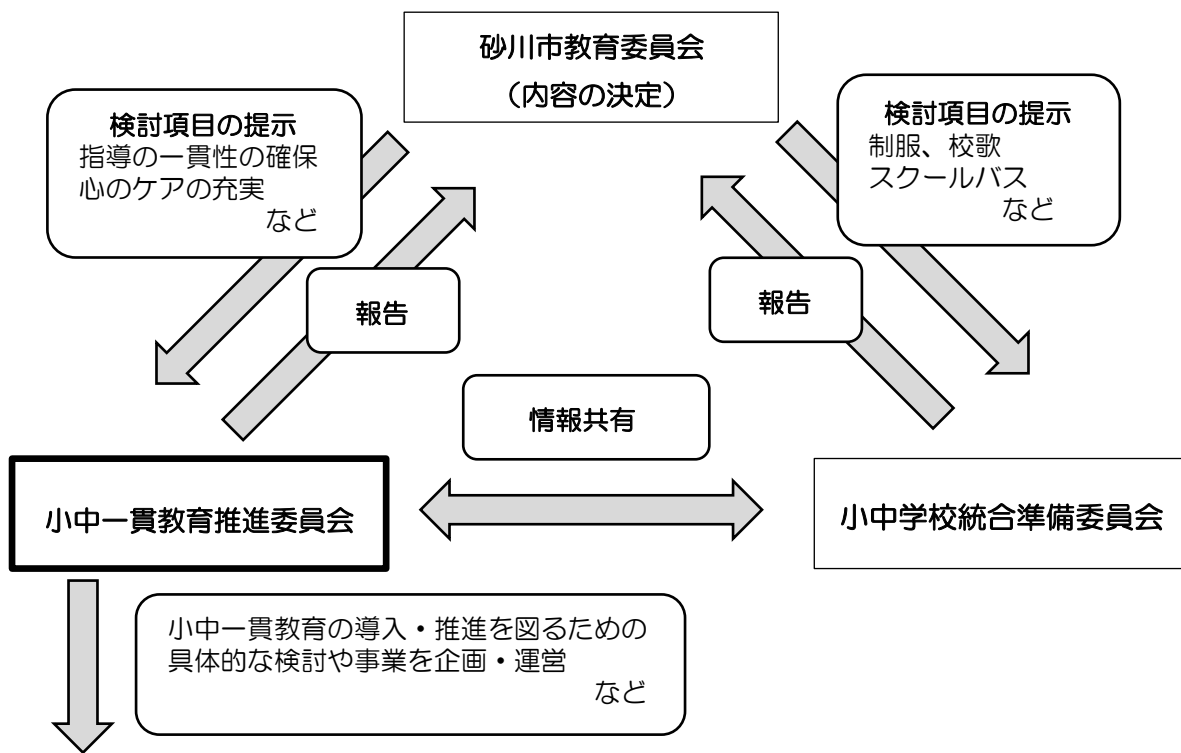
(5) ワーキンググループの推薦人数

- ア 学校経営ワーキンググループ：各小・中学校から1名。
- イ 教育課程ワーキンググループ：各小・中学校から1名。(教務主任が望ましい)
- ウ 指導活動ワーキンググループ：各小・中学校から2名。
(生徒指導主事・児童会生徒会担当者が望ましい)
- エ 学校連携ワーキンググループ：各小・中学校から2名。
- オ 学校事務ワーキンググループ：各小・中学校から1名。(事務職員)
- カ 特別支援教育ワーキンググループ：各小・中学校から3名。(特別支援教育担当者が望ましい)

(6) ワーキンググループの運営

- ア 事務局は砂川市教育委員会学校再編課（統括：指導参事）とし、各ワーキンググループのグループ長と連携しながら運営に当たる。
- イ 派遣依頼や案内文書は学校再編課より発出する。
- ウ ワーキンググループの協議の方向性については、グループ長と指導参事による事前協議で調整するが、具体的内容に関してはグループ長に一定の権限と裁量を与える。
- エ グループ間での情報共有が必要な事項があれば、グループ長間で積極的に連携を図る。
- オ ワーキンググループは、各グループにおけるミッションを達成するために適切な数の会議をもつこととし、オンラインによる会議の開催も推奨する。
- カ 会議時間は 15:15 を原則とし、ワーキンググループ長の所属する学校を会場とする。

推進委員会の位置づけ (R7)



- 小中一貫教育推進委員会ワーキンググループ**
- 学校経営ワーキンググループ
 - ・教育課程ワーキンググループ
 - ・研究推進ワーキンググループ
 - ・指導活動ワーキンググループ
 - ・学校事務ワーキンググループ
 - ・特別支援教育ワーキンググループ
 - 学校連携ワーキンググループ